学校番号	415

令和８年度　地理歴史科

教科	地理歴史	科目	世界史探究	単位数	４単位	年次	３年次
使用教科書	「世界史探究」　（実教出版）						
副教材等	プリント等						

１　担当者からのメッセージ（学習方法等）

「世界史探究」は，「歴史総合」の学習によって身につけた資質・能力を基に，世界の歴史の大きな枠組みと展開に関わる諸事象について，地理的条件や日本の歴史と関連づけながら理解するとともに，事象の意味や意義，特色などを考察し，よりよい社会の実現を視野に，歴史的経緯を踏まえて，地球世界の課題を探究する科目である。

２　学習の到達目標

【知識及び技能】
・世界の歴史の大きな枠組みと展開に関わる諸事象について，地理的条件や日本の歴史と関連づけながら理解するとともに，諸資料から世界の歴史に関するさまざまな情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身につけるようにする。
【思考力、判断力、表現力等】
・世界の歴史の大きな枠組みと展開に関わる事象の意味や意義，特色などを，時期や年代，推移，比較，相互の関連や現代世界とのつながりなどに着目して，概念などを活用して多面的・多角的に考察したり，歴史に見られる課題を把握し解決を視野に入れて構想したりする力や，考察，構想したことを効果的に説明したり，それらを基に議論したりする力を養う。
【学びに向かう力、人間性等】
・世界の歴史の大きな枠組みと展開に関わる諸事象について，よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に探究しようとする態度を養うとともに，多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される日本国民としての自覚，我が国の歴史に対する愛情，他国や他国の文化を尊重することの大切さについての自覚などを深める。

３　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	世界の歴史の大きな枠組みと展開に関わる諸事象について,地理的条件や日本の歴史と関連付けながら理解しているとともに,資料から世界の歴史に関する様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付けるようにする。	世界の歴史の大きな枠組みと展開に関わる事象の意味や意義、特色などを,時期や年代,推移,比較,相互の関連や現代世界とのつながりなどに着目して,概念などを活用して多面的・多角的に考察したり,歴史に見られる課題を把握し解決を視野に入れて構想したりする力や,考察,構想したことを効果的に説明したり,それらを基に議論したりする力を養う。	世界の歴史の大きな枠組みと展開に関わる諸事象について,よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に探究しようとする態度を養うとともに,多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される日本国民としての自覚、我が国の歴史に対する愛情,他国や他国の文化を尊重することの大切さについての自覚などを深める。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
1	第1部　諸地域の歴史的特質の形成					
	第1章　古代文明	1．農耕と牧畜のはじまり 2．オリエント文明 3．インダス文明 4．中国文明 ACTIVE①古代文明の特質	a：オリエント文明，インダス文明，中華文明などを基に，古代文明の歴史的特質を理解している。 b：古代文明に関わる諸事象の背景や原因，結果や影響，事象相互の関連などに着目し，主題を設定し，諸資料を比較したり関連付けたりして読み解き，自然環境と生活や文化との関連性，農耕・牧畜の意義などを多面的・多角的に考察し，表現している。 c：古代文明の歴史的特質について，よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に追究，解決しようとする態度を養うとととともに，多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される日本国民としての自覚，我が国の歴史に対する愛情，他国や他国の文化を尊重することの大切さについての自覚などを深める。	定期考査	定期考査	ワークシート

	第2章　東アジアと中央ユーラシア	１．春秋・戦国時代の変動 ２．中国古代帝国と東アジア ３．中央ユーラシアの国家形成 ４．胡漢融合帝国の誕生 ACTIVE②漢～唐代の国際関係	a：秦･漢と遊牧国家，唐と近隣諸国の動向などを基に，東アジアと中央ユーラシアの歴史的特質を理解している。 b：東アジアと中央ユーラシアの歴史に関わる諸事象の背景や原因，結果や影響，事象相互の関連，諸地域相互の関わりなどに着目し，主題を設定し，諸資料を比較したり関連付けたりして読み解き，唐の統治体制と社会や文化の特色，唐と近隣諸国との関係，遊牧民の社会の特徴と周辺諸地域との関係などを多面的・多角的に考察し，表現している。 c：東アジアと中央ユーラシアの歴史的特質について，よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に追究，解決しようとする態度を養うとともに，多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される日本国民としての自覚，我が国の歴史に対する愛情，他国や他国の文化を尊重することの大切さについての自覚などを深める。	定期考査	定期考査	ワークシート

	第３章　南アジアと東南アジア	１．インド古典文化の形成 ２．古代の東南アジアと海のシルクロード	a：仏教の成立とヒンドゥー教，南アジアと東南アジアの諸国家などを基に，南アジアと東南アジアの歴史的特質を理解している。 b：南アジアと東南アジアの歴史に関わる諸事象の背景や原因，結果や影響，事象相互の関連，諸地域相互の関わりなどに着目し，主題を設定し，諸資料を比較したり関連付けたりして読み解き，南アジアと東南アジアにおける宗教や文化の特色，東南アジアと周辺諸地域との関係などを多面的・多角的に考察し，表現している。 c：南アジアと東南アジアの歴史的特質について，よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に追究，解決しようとする態度を養うとともに，多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される日本国民としての自覚，我が国の歴史に対する愛情，他国や他国の文化を尊重することの大切さについての自覚などを深める。	定期考査	定期考査	ワークシート

	第４章　西アジアと地中海周辺	１．オリエントの統一 ２．ギリシア文明 ３．ヘレニズム時代 ４．ローマ帝国 ５．西アジアの国々と諸宗教	a：西アジアと地中海周辺の諸国家などを基に，西アジアと地中海周辺の歴史的特質を理解している。 b：西アジアと地中海周辺の歴史に関わる諸事象の背景や原因，結果や影響，事象相互の関連，諸地域相互の関わりなどに着目し，主題を設定し，諸資料を比較したり関連付けたりして読み解き，西アジアと地中海周辺の諸国家の社会や文化の特色などを多面的・多角的に考察し，表現している。 c：西アジアと地中海周辺の歴史的特質について，よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に追究，解決しようとする態度を養うとととともに，多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される日本国民としての自覚，我が国の歴史に対する愛情，他国や他国の文化を尊重することの大切さについての自覚などを深める。	定期考査	定期考査	ワークシート

	第5章　西アジア・地中海周辺の変動とヨーロッパの形成	1．ビザンツ帝国とギリシア正教圏 2．ラテン=カトリック圏の形成と展開 3．イスラーム圏の成立	a：キリスト教とイスラームの成立とそれらを基盤とした国家の形成などを基に，西アジアと地中海周辺，ヨーロッパの歴史的特質を理解している。 b：西アジアと地中海周辺，ヨーロッパの歴史に関わる諸事象の背景や原因，結果や影響，事象相互の関連，諸地域相互の関わりなどに着目し，主題を設定し，諸資料を比較したり関連付けたりして読み解き，キリスト教とイスラームを基盤とした国家の特徴などを多面的・多角的に考察し，表現している。 c：西アジアと地中海周辺，ヨーロッパの歴史的特質について，よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に追究，解決しようとする態度を養うとともに，多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される日本国民としての自覚，我が国の歴史に対する愛情，他国や他国の文化を尊重することの大切さについての自覚などを深める。	定期考査	定期考査	ワークシート
2	第2部　諸地域の交流と再編					

	第6章　イスラーム圏の拡大とヨーロッパ社会の変容	1．イスラーム圏の多極化と展開 2．ラテン=カトリック圏の拡大 ACTIVE③ キリスト教圏とイスラーム圏―「衝突」と「交流」 3．ラテン=カトリック圏の動揺と秩序の変容	a：西アジア社会の動向とアフリカ・アジアへのイスラームの伝播，ヨーロッパ封建社会とその展開などを基に，海域と内陸にわたる諸地域の交流の広がりを構造的に理解している。 b：諸地域の交流の広がりに関わる諸事象の背景や原因，結果や影響，事象相互の関連，諸地域相互のつながりなどに着目し，主題を設定し，諸資料を比較したり関連付けたりして読み解き，諸地域へのイスラームの拡大の要因，ヨーロッパの社会や文化の特色などを多面的・多角的に考察し，表現している。 c：西アジア社会の動向とイスラームの伝播，ヨーロッパ封建社会とその展開について，よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に追究，解決しようとする態度を養うとともに，多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される日本国民としての自覚，我が国の歴史に対する愛情，他国や他国の文化を尊重することの大切さについての自覚などを深める。	定期考査	定期考査	ワークシート

	第7章　中央ユーラシアと諸地域の交流・再編	1．中央ユーラシア諸民族と東アジアの変容 2．モンゴル帝国の成立 3．東南アジア諸国の再編 4．海域世界の展開と大交易圏の成立 ACTIVE④ 大交易圏の成立とムスリム=ネットワーク	a：宋の社会とモンゴル帝国の拡大などを基に，海域と内陸にわたる諸地域の交流の広がりを構造的に理解している。 b：諸地域の交流の広がりに関わる諸事象の背景や原因，結果や影響，事象相互の関連，諸地域相互のつながりなどに着目し，主題を設定し，諸資料を比較したり関連付けたりして読み解き，中国社会の特徴やモンゴル帝国が果たした役割などを多面的・多角的に考察し，表現している。 c：海域と内陸にわたる諸地域の交流の広がりについて，よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に追究，解決しようとする態度を養うとともに，多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される日本国民としての自覚，我が国の歴史に対する愛情，他国や他国の文化を尊重することの大切さについての自覚などを深める。	定期考査	定期考査	ワークシート

	第８章　大交易時代	１．明と東アジア ２．ヨーロッパの海外進出 ３．大交易時代の海域アジア	a：アジア海域での交易の興隆，明と日本・朝鮮の動向，スペインとポルトガルの活動などを基に，諸地域の交易の進展とヨーロッパの進出を構造的に理解している。 b：諸地域の交易とヨーロッパの進出に関わる諸事象の背景や原因，結果や影響，事象相互の関連，諸地域相互のつながりなどに着目し，主題を設定し，諸資料を比較したり関連付けたりして読み解き，アジア海域での交易の特徴，ユーラシアとアメリカ大陸間の交易の特徴とアメリカ大陸の変容などを多面的・多角的に考察し，表現している。 c：諸地域の交易の進展とヨーロッパの進出について，よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に追究，解決しようとする態度を養うとともに，多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される日本国民としての自覚，我が国の歴史に対する愛情，他国や他国の文化を尊重することの大切さについての自覚などを深める。	定期考査	定期考査	ワークシート

	第9章　アジア諸地域の帝国	1．中央ユーラシアと西アジアの帝国 2．南アジアの帝国 3．東南アジア諸国の発展 4．清と東アジア ACTIVE⑤ イスラーム都市の繁栄	a：西アジアや南アジアの諸帝国，清と日本・朝鮮などの動向を基に，アジア諸地域の特質を構造的に理解している。 b：アジア諸地域の動向に関わる諸事象の背景や原因，結果や影響，事象相互の関連，諸地域相互のつながりなどに着目し，主題を設定し，諸資料を比較したり関連付けたりして読み解き，諸帝国の統治の特徴，アジア諸地域の経済と社会や文化の特色，日本の対外関係の特徴などを多面的・多角的に考察し，表現している。 c：近世のアジア諸地域の特質について，よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に追究，解決しようとするとととともに，多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される日本国民としての自覚，我が国の歴史に対する愛情，他国や他国の文化を尊重することの大切さについての自覚などを深める。	定期考査	定期考査	ワークシート

	第10章　近世ヨーロッパの形成と展開	1．ルネサンスと宗教改革 2．主権国家体制の成立 3．激化する覇権競争 4．近世ヨーロッパの社会と文化 ACTIVE⑥ 近世ヨーロッパの経済と強国の交代	a：宗教改革とヨーロッパ諸国の抗争，大西洋三角貿易の展開，科学革命と啓蒙思想などを基に，主権国家体制の形成と地球規模での交易の拡大を構造的に理解している。 b：ヨーロッパ諸地域の動向に関わる諸事象の背景や原因，結果や影響，事象相互の関連，諸地域相互のつながりなどに着目し，主題を設定し，諸資料を比較したり関連付けたりして読み解き，宗教改革の意義，大西洋両岸諸地域の経済的連関の特徴，主権国家の特徴と経済活動との関連，ヨーロッパの社会や文化の特色などを多面的・多角的に考察し，表現している。 c：主権国家体制の形成と地球規模での交易の拡大について，よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に追究，解決しようとする態度を養うとととともに，多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される日本国民としての自覚，我が国の歴史に対する愛情，他国や他国の文化を尊重することの大切さについての自覚などを深める。	定期考査	定期考査	ワークシート
	第３部　諸地域の結合と変容					

	第11章産業革命と大西洋革命	1．イギリスの 産業革命 2．南北アメリカの 革命 3．フランス革命と ナポレオン帝政 ACTIVE⑦ 大西洋革命	a：産業革命と環大西洋革命などを基に，国民国家と近代民主主義社会の形成を構造的に理解している。 b：大西洋両岸諸地域の動向に関わる諸事象の背景や原因，結果や影響，事象相互の関連，諸地域相互のつながりなどに着目し，主題を設定し，諸資料を比較したり関連付けたりして読み解き，産業革命や環大西洋革命の意味や意義などを多面的・多角的に考察し，表現している。 c：産業革命と環大西洋革命について，よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に追究，解決しようとする態度を養うとととともに，多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される日本国民としての自覚，我が国の歴史に対する愛情，他国や他国の文化を尊重することの大切さについての自覚などを深める。	定期考査	定期考査	ワークシート

	第12章　近代ヨーロッパ・アメリカの国民国家	１．ウィーン体制と 1848年の革命 ２．19世紀後半の ヨーロッパとア メリカ ３．19世紀のヨーロッパ・アメリカの社会と文化 ACTIVE⑧ アメリカの 黒人奴隷制度	a：自由主義とナショナリズム，南北戦争の展開などを基に，国民国家と近代民主主義社会の形成を構造的に理解している。 b：大西洋両岸諸地域の動向に関わる諸事象の背景や原因，結果や影響，事象相互の関連，諸地域相互のつながりなどに着目し，主題を設定し，諸資料を比較したり関連付けたりして読み解き，自由主義とナショナリズムの特徴，南北アメリカ大陸の変容などを多面的・多角的に考察し，表現している。 c：国民国家と近代民主主義社会の形成について，よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に追究，解決しようとする態度を養うとともに，多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される日本国民としての自覚，我が国の歴史に対する愛情，他国や他国の文化を尊重することの大切さについての自覚などを深める。	定期考査	定期考査	ワークシート

	第13章　地球をおおう帝国主義と世界諸地域の抵抗	1．ヨーロッパの帝国主義 2．アメリカの帝国主義 3．西アジアの改革運動 4．アフリカの分割と抵抗 5．インドの植民地化と民族運動 6．東南アジアの植民地化と民族運動 7．東アジアの国際関係の再編	a:① 国際的な分業体制と労働力の移動，イギリスを中心とした自由貿易体制，アジア諸国の植民地化と諸改革などを基に，世界市場の形成とアジア諸国の変容を構造的に理解している。 ②第二次産業革命と帝国主義諸国の抗争，アジア諸国の変革などを基に，世界分割の進展とナショナリズムの高まりを構造的に理解している。 b:①世界市場の形成とアジア諸国の動向に関わる諸事象の背景や原因，結果や影響，事象相互の関連，諸地域相互のつながりなどに着目し，主題を設定し，諸資料を比較したり関連付けたりして読み解き，労働力の移動を促す要因，イギリスの覇権の特徴，アジア諸国の変容の地域的な特徴などを多面的・多角的に考察し，表現している。 ②列強の対外進出とアジア・アフリカの動向に関わる諸事象の背景や原因，結果や影響，事象相互の関連，諸地域相互のつながりなどに着目し，主題を設定し，諸資料を比較したり関連付けたりして読み解き，世界経済の構造的な変化，列強の帝国主義政策の共通点と相違点，アジア諸国のナショナリズムの特徴などを多面的・多角的に考察し，表現している。 c: 世界市場の形成とアジア諸国の変容，世界分割の進展とナショナリズムの高まりについて，よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に追究，解決しようとする態度を養うとともに，多面的・多角的な	定期考査	定期考査	ワークシート

			考察や深い理解を通して涵養される日本国民としての自覚，我が国の歴史に対する愛情，他国や他国の文化を尊重することの大切さについての自覚などを深める。			
	第14章第一次世界大戦と諸地域の変容	1．第一次世界大戦 2．ヴェルサイユ体制と国際協調 3．アジアのナショナリズムの台頭 ACTIVE⑨ 第一次世界大戦後の中国と国際社会	a：第一次世界大戦とロシア革命，ヴェルサイユ・ワシントン体制の形成，アメリカ合衆国の台頭，アジア・アフリカの動向とナショナリズムなどを基に，第一次世界大戦の展開と諸地域の変容を構造的に理解している。 b：第一次世界大戦と大戦後の諸地域の動向に関わる諸事象の背景や原因，結果や影響，事象相互の関連，諸地域相互のつながりなどに着目し，主題を設定し，諸資料を比較したり関連付けたりして読み解き，第一次世界大戦後の国際協調主義の性格，アメリカ合衆国の台頭の要因，アジア・アフリカのナショナリズムの性格などを多面的・多角的に考察し，表現している。 c：第一次世界大戦の展開と諸地域の変容について，よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に追究，解決しようとする態度を養うとともに，多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される日本国民としての自覚，我が国の歴史に対する愛情，他国や他国の文化を尊重することの大切さについての自覚などを深める。	定期考査	定期考査	ワークシート

	第15章　第二次世界大戦と戦後の国際秩序	1．世界恐慌と ファシズム 2．満洲事変と 日中戦争 3．第二次世界大戦 4．戦後の変革と 冷戦のはじまり ACTIVE⑩ なぜ人々はナチ党を支持したのか	a：①世界恐慌とファシズムの動向，ヴェルサイユ・ワシントン体制の動揺などを基に，国際関係の緊張と対立を構造的に理解している。 ②第二次世界大戦の展開と大戦後の国際秩序，冷戦とアジア諸国の独立の始まりなどを基に，第二次世界大戦の展開と諸地域の変容を構造的に理解している。 b：①世界恐慌と国際協調体制の動向に関わる諸事象の背景や原因，結果や影響，事象相互の関連，諸地域相互のつながりなどに着目し，主題を設定し，諸資料を比較したり関連付けたりして読み解き，世界恐慌に対する諸国家の対応策の共通点と相違点，ファシズムの特徴，第二次世界大戦に向かう国際関係の変化の要因などを多面的・多角的に考察し，表現している。 ②第二次世界大戦と大戦後の諸地域の動向に関わる諸事象の背景や原因，結果や影響，事象相互の関連，諸地域相互のつながりなどに着目し，主題を設定し，諸資料を比較したり関連付けたりして読み解き，第二次世界大戦中の連合国による戦後構想と大戦後の国際秩序との関連，アジア諸国の独立の地域的な特徴などを多面的・多角的に考察し，表現している。 c：戦間期における国際関係の緊張と対立，第二次世界大戦の展開と諸地域の変容について，よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に追究，解決しようとする態度を養うとととともに，多面的・多角的な考察や深い理解を通	定期考査	定期考査	ワークシート

			して涵養される日本国民としての自覚，我が国の歴史に対する愛情，他国や他国の文化を尊重することの大切さについての自覚などを深める。			
第４部　地球世界の課題						
3	第16章　冷戦と現代世界	１．冷戦下の 安全保障体制 ２．脱植民地化と 非同盟 ３．冷戦の終結と 現代世界 ACTIVE⑪ 現代の紛争と解決への国際的取り組み	a：集団安全保障と冷戦の展開，アジア・アフリカ諸国の独立と地域連携の動き，平和共存と多極化の進展，冷戦の終結と地域紛争の頻発などを基に，紛争解決の取組と課題を理解している。 b：国際機構の形成と紛争に関わる諸事象の歴史的背景や原因，結果や影響，事象相互の関連，諸地域相互のつながりなどに着目し，主題を設定し，諸資料を比較したり関連付けたりして読み解き，国際連盟と国際連合との共通点と相違点，冷戦下の紛争解決と冷戦後の紛争解決との共通点と相違点，紛争と経済や社会の変化との関連性などを多面的・多角的に考察し，表現している。 c：紛争解決の取組と課題について，よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に追究，解決しようとする態度を養うとととともに，多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される日本国民としての自覚，我が国の歴史に対する愛情，他国や他国の文化を尊重することの大切さについての自覚などを深める。	定期考査	定期考査	ワークシート

	第17章　世界経済の展開	１．冷戦と経済統合 ２．第三世界の経済 ３．産業構造と 社会の変化 ４．グローバル化と新自由主義の時代 ACTIVE⑫ 世界の格差とその 解消への取り組み	a：先進国の経済成長と南北問題，アメリカ合衆国の覇権の動揺，資源ナショナリズムの動きと産業構造の転換，アジア・ラテンアメリカ諸国の経済成長と南南問題，経済のグローバル化などを基に，格差是正の取組と課題を理解している。 b：国際競争の展開と経済格差に関わる諸事象の歴史的背景や原因，結果や影響，事象相互の関連，諸地域相互のつながりなどに着目し，主題を設定し，諸資料を比較したり関連付けたりして読み解き，先進国による経済援助や経済の成長が見られた地域の特徴，諸地域間の経済格差や各国内の経済格差の特徴，経済格差と政治や社会の変化との関連性などを多面的・多角的に考察し，表現している。 c：格差是正の課題と取組について，よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に追究，解決しようとする態度を養うとととともに，多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される日本国民としての自覚，我が国の歴史に対する愛情，他国や他国の文化を尊重することの大切さについての自覚などを深める。	定期考査	定期考査	ワークシート

	第18章　科学技術の時代と知識基盤社会	１．地球環境の未来 ２．バイオ・生命科学と私たちの生３．ICT の発達と 情報社会 ４．知識基盤社会の形成５．科学技術と平和 ACTIVE⑬ 世界史のなかの 感染症	a：原子力の利用や宇宙探査などの科学技術，医療技術・バイオテクノロジーと生命倫理，人工知能と労働の在り方の変容，情報通信技術の発達と知識の普及などを基に，知識基盤社会の展開と課題を理解している。 b：科学技術の高度化と知識基盤社会に関わる諸事象の歴史的背景や原因，結果や影響，事象相互の関連などに着目し，主題を設定し，諸資料を比較したり関連付けたりして読み解き，現代の科学技術や文化の歴史的な特色，第二次世界大戦後の科学技術の高度化と政治・経済・社会の変化との関連性などを多面的・多角的に考察し，表現している。 c：知識基盤社会の展開と課題について，よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に追究，解決しようとする態度を養うとととともに，多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される日本国民としての自覚，我が国の歴史に対する愛情，他国や他国の文化を尊重することの大切さについての自覚などを深める。	定期考査	定期考査	ワークシート

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度